

Press and IR Release

生産現場のデジタル化

シェフラーがDMG MORIと工具製造のデジタル化ソリューションを開発

YOKOHAMA, 2021-09-24.

- より効率的かつサステイナブルな生産を狙った革新的でダイナミックな統合システムを共同開発
- DMG MORI社との長年のパートナーシップを拡大
- アンドレアス・シック：「この革新的な工具製造用生産システムは、シェフラーのグローバルな生産ネットワークにおいて、アジリティ、効率性、レスポンス時間の大幅な改善を約束します」

シェフラーでは、デジタル化への総合的なアプローチを、バリューチェーン全体で会社と顧客に新たな機会をもたらす重要なテーマと考えています。そのため、ロードマップ2025の一環として、シェフラーは70を超える生産工場を半自律的でデジタルかつサステイナブルな未来の工場へと転換することを一貫して推進しています。工具製造をデジタル化するための革新的でダイナミックに統合された生産システムの画期的な開発は、この変革の重要な一歩です。シェフラーは、世界有数の工作機械メーカーであるDMG MORI AGと共同で、世界各地の工場にこの新システムを導入します。両社は、この目的のために共同ソフトウェア開発プロジェクトを開始します。

シェフラーAGの最高執行責任者（COO）であるアンドレアス・シックは、「この革新的な工具製造用生産システムを開発・使用することで、シェフラーのグローバルな生産ネットワークにおけるアジリティ、効率性、レスポンス時間が大幅に改善されることを期待しています」と述べています。また、「今回の開発プロジェクトは、両社に利益をもたらすだけでなく、主に顧客やユーザーにも利益をもたらすものだと確信しています。革新的なデジタルソリューションを生み出し、パートナーシップでこの分野の未来を再定義したいと考えています」と述べています。" 2014年以降、シェフラーはDMG MORIと、幅広い産業用アプリケーションにおける重要な技術パートナーとしての関係を構築しています。DMG MORIの取締役会長であるクリスチャン・トネスは、「我々の協力関係は完璧なものです」と述べています。「シェフラーを重要な戦略的パートナーとすることで、我々は工具製造のデジタル化において新たな基準を打ち立てることができます。3D設計データは、高度に自動化されたデジタル化されたプロセスの基礎となり、その結果、サステイナブルな生産が可能になります」と述べています。

サステイナブルなデジタル生産への重要な一歩

このダイナミックなシステムにより、設計、計画、プログラミングという既存の個々のプロセスステップを自動化します。その鍵となるのは、人工知能に基づいたルーティングの作成、自動生成されたオペレーション・スケジューリング、再構成可能なワークプロセスです。例えば、統合ソリューションでは、最適化されたプロセスとシステムにより、見積書の作成に要する時間を最大80%まで大幅に短縮することができます。シェフラーAGのインダストリアルCEOであるシュテファン・シュピンドラー博士は、「シェフラーはこの新システムを利用して、オペレーション・スケジューリング・プロセスから、生産プロセスとそのモニタリングに至るまで、工具製造のデジタル・ツインを構築することができます」と説明しています。

このシェフラーとDMG MORIの共同開発には、ソフトウェア開発会社のup2parts GmbHと、製造業向けアプリケーション開発会社のISTOS GmbHも協力しています。

シェフラーグループ – We pioneer motion シェフラーグループは、75年以上にわたり、モーション・テクノロジーの分野で画期的な発明と開発を進めてきました。電動モビリティ、CO₂効率の高い駆動、シャシーソリューション、インダストリー4.0、デジタル化、再生可能エネルギーに関する分野で、革新的な技術、製品、サービスを提供するシェフラーグループはライフサイクル全体にわたり、モーションをより効率的でインテリジェントで持続可能なものにするための信頼できるパートナーです。モーション・テクノロジー企業である当社は、高精度な駆動トレインとシャシーアプリケーション用のコンポーネントとシステム、および多くの産業機械用の転がり軸受や滑り軸受のソリューションを製造しています。2022年には、シェフラーグループは158億ユーロの売上を上げました。約84,000人の従業員を抱えるこの企業は、世界最大の同族企業の1つです。2022年には1,250件以上の特許出願があり、シェフラーはドイツのDPMA（ドイツ特許庁）によれば、最も革新的な企業の4番目に位置しています。

デジタルツール製造における協力 シェフラーAGのアンドレアス・シック最高執行責任者（右から3人目）とDMG MORI AGのクリスチャン・トーネス取締役会長（左から3人目）は、（左から）DMG MORI Digital GmbHのフロリアン・ザイラー氏、up2parts GmbHのクリスチャン・ハイニング博士、シェフラーのツールテクノロジー部門責任者であるヴィルフリート・シュヴェンク氏、DMG MORI Heitec GmbHのマルクス・レーム社長とともに、画期的なプロジェクトに合意しました。（写真：DMG MORI AG）注：掲載されている人物は、適用されるコロナ衛生規則を遵守し、収録直前にマスクを外しています。

[Download](#)

連絡先: シェフラー・ジャパン広報部 太田晴子
TEL +81 52 589 9517
E-Mail: pr-japan@schaeffler.com